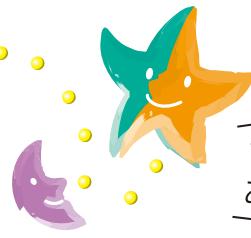


# ニヌファブシ



10周年  
ありがとう!

首里城下町クリニック 第一・那覇西クリニック・那覇西クリニックまかび  
「共同発行情報誌」

創刊10周年記念号



「ニヌファブシ」もみなさまにご愛顧頂き、  
10周年を迎えることができました。  
これからも夜空を照らす「北極星」のように、  
みなさまに「明るい」情報を提供していきたい  
と思います！  
これからも宜しくお願いします。

## 「From Okinawa to the World ～沖縄から世界へ～」

那霸西クリニック 乳腺外科 玉城 研太朗



昨年秋、16年ぶりの沖縄生活をスタートさせ、沖縄での生活に心ときめかせておりました。これから始まる沖縄の未来のこと、また自分の仕事が沖縄県にどれだけ貢献できるのかということを考えると、不安や心配は私にとっては粉塵の如しでありました。

“沖縄県は東西1000km、南北400kmのエリアに160もの島々を有する自然豊かで、芸能・文化が魅力的、Mainland (日本本土)だけでなく海外から多くの観光客が訪れる”。沖縄県庁のホームページで海外向けに「With a unique history and culture, Okinawa bids to become a base of international exchange」ということで、前述のようなことが紹介されています。サンゴ礁や独特な海洋生物を有する沖縄の海、やんばるや西表に代表されるこの地域特有の豊かな大自然は非常に魅力的で、また、琉球料理や泡盛文化も沖縄が世界に誇る偉大なる財産であります。さらに、空手や琉球舞踊、音楽などの伝統芸能は世界に引けをとらない、否むしろ世界トップレベルの文化であることは沖縄県民ならずとも、世界的にも周知の事実ではないかと考えます。さてScience (科学)、とりわけMedical Science (医学)に目を向けてみると、沖縄県は非常にレベルの高い医療水準なのですが、世界のトップであるとは決して言えません。医学・医療に従事する者として、沖縄県の医学研究が世界最高峰で、世界トップレベルの医療が受けられるようなシステムを作つてみたい、というのが当方の夢であります。夢の実現へ向けてどのようなことをすればよいのか。まず、質の高い医学研究を行うこと、それを世界へ常に発信し続けるということが極めて重要ではないかと考えます。旧来琉球人は、16世紀の大交易時代を含め“モノ”を記述し後世に残すということが苦手のようであり(琉球大学高良倉吉教授談)恐らくこの流れが現代にも続いているのだと思うのであります。先日沖縄県の乳腺医療を考えるOkinawa Breast Oncology Meetingを開催致しました。非常に質の高い討議が行われ、そこで得られたコンセンサスを現在英文にて世界に発信しているところです。小さいことの積み重ねによって、沖縄から世界に向けて大きな流れを作つてみようと夢を抱いているところです。

アメリカにMayo Clinicという世界を代表するアカデミックな病院があります。19世紀後半、たった二人で始めたクリニックも、今やアメリカを代表する大病院へと変貌を遂げ、今もなお成長し続けております。那霸西クリニックは1996年に2人の医師でスタートしました。我々クリニックも世界から注目されるような病院をめざして、日々研鑽を積みたいと思っております。皆様今後ともよろしくお願い致します。

## 開院16周年パーティー

おかげ様で那霸西クリニックは、今年16周年を迎える事ができました。去る5月19日にハーバービューホテルにて記念パーティーが開かれました。昨年に続き、今年、勤続10年を迎える勤労功労者の表彰式などが行われ、楽しいパーティーとなりました。



玉城Dr.(中央)。大好きなお酒  
飲みすぎないで下さいね。



照喜名Dr.帽子がお似合い?



10年勤務表彰  
左から、長濱さん、平良さん、  
高江洲さん



那霸西クリニックの美女達  
あつまれー

## ピンクリボン沖縄2011

ピンクリボン沖縄2011がてんぶす館前の広場で開催されました。舞台では先生方から自己検診のやり方をダンスでわかりやすく説明があるなど、たくさんの方の参加がありました。

ありがとうございました。



ステキな笑顔頂きました



こちらにもステキな笑顔が~☆



うちわや風船配りました~



さあ!!みんなと一緒に!!  
自己検診しましょう



歩行者天国で告知♪



息ピッタリ!!



## ピンクリボン沖縄2012のお知らせ

10月はピンクリボン運動月間です。

今年も乳癌撲滅を目指しイベントを開催する予定です。

合せてピンクリボンホームページを御覧下さい。 <http://www.pinkribbon-okinawa.jp/>

## 「“臨床試験”の役目」



那霸西クリニック 診療部長 上原 協

クスリを飲んだことのないヒトはいないのではないかと思うくらい、現在の日本ではお薬を安全に迅速に手にすることができます。それはひとえに開発研究者や製薬会社の方々はもとより、お薬を扱う薬剤師の方の支えがあってのことです。ただその前に、大事な役目を担った人々がいます。それは試験に参加した試験協力者の人々です。新薬が実際に世に出るまでには、開発途中や販売前において、この新薬が安全か、ひいては効果がちゃんとあるのかなど実際に人間で確認する必要があります。動物実験や基礎実験で成功しましたという結果だけではわざわざの手元にクスリが届くことは決してありません。そういった試験に参加する人々を試験協力者と呼んでいます。現在われわれが手にする薬の多くは、そういう尊い意思を基にした客観的データによって成り立っているのです。もちろん実際病気を患い、現状の治療では打つ手がなくて新薬に期待をして試験に参加するという場面もあるでしょう。いずれにしても未来の人々に思いをはせて、「お役にたてるなら参加します」というボランティア精神をもった試験協力者の人々を忘れてはいけません。

新薬が世に出る前には、この新薬による治療がはたして既存の最良な治療と比べて上等かどうか、という目的の比較試験がなされることがあります。その際公正に試験を進めるため試験に参加している人にはどちらの薬・治療法かは知らせません。多くの場合結果が出るまでに半年から数年かかります。そのため中間解析といって途中で試験成績を確認してみることができます。その時、問題が出てきます。もし新薬を受けた群が既存の最良な治療を受けた群よりも治療成績がとてもよかつたらどうす

るか。その場合の二つの考え方があります。

ひとつは、効果が相対的に劣るとされた既存の治療を受けている群の人からすると、よりよい治療を受けたいというのが心情ですので、倫理的配慮として、既存の最良な治療を受けている群でも途中から新薬に治療を変更するというものです。途中からの変更を認めると両方の群で同じ治療が行われていくので、結局、最終の試験結果では優劣が出にくくなります。そうなるとこの試験結果の解釈が難しくなってしまいます。この新薬は途中まではよかったですが最終的には既存の最良な治療と差がないとなると、この薬は本当はとてもよい薬なのに既存の最良な治療と差がなかったということです、場合によっては発売予定見送りとなるケースもあるのです。

二つめは、未来の人々に対する倫理的配慮はどうなるのかということです。つまり新薬の効果を見極めるため、中間解析がどうであれ、当初の通り試験を遂行していくというものです。この場合、新薬は既存の最良な治療と比べてとても優れているという最終結果なら、発売され、その後必要とされる多くの人々に届けられることとなるでしょう。もし前述のように、途中から治療変更を認めてしまうことで最終的に差がないという結果になり発売しないとなると、なかにはこの薬で十分治療効果が見込める人がいるのに、この人は治療を受ける機会を失うことになります。また途中変更を認めなければ、試験に参加した既存の最良な治療を受けている人々にとっては、よりよい治療へ変更できなかったということが起こります。

医学はこのような様々な経験の積み重ねで成り立つものであり、ひとつひとつ、日常診療で何気なく遭遇する患者さんより気づかされることも多いものです。

## 「病院レク」



子供達もノーガーターレーンで楽しみました。

今年度は、新しいDr. や新入職員も入り、賑やかになり、スタッフの仲をさらに深める為に親睦会も兼ねて、ボーリング大会を4月7日に開催しました。

チーム衣装や個人表彰もあり、皆で大いに盛り上りました。

ゲーム後は食事会をしながら表彰タイムへ。チーム・個人共に表彰された人や、結果が思うように出なかった人もいるようですが、楽しい1日となりました。



チーム玉城、がんばるぞ!!



那霸西クリニック、最強の女王、誕生です。



他の人のプレーも気になります……



新入職員も盛り上りました。

## 建物がきれいになりました!!

本院の外壁塗装工事が行われ、きれいな色になりました。気持ちも新たにがんばります!



どの色にしようかな♡



足場を組みました。  
元の色はこんな感じです。



工事中もしっかり  
診療しています!



完成!!  
きれいな色になりました。  
いい感じです。

## 新人紹介

新しいメンバーが仲間入りしました♡  
どうぞよろしく!

男前の外科医が入社したぜい!!  
よろしくお願ひします。

医師 玉城 研太朗



透析看護師 大城 千和子  
平成23年11月から透析室で働かせて頂いてます。皆と仲良く頑張っていきたいと思いますので今後とも宜しくお願ひ致します。

昨年12月から病棟で勤務しています。  
今まで学んだ事を生かしつつ、これからもたくさんの事を学んで、患者様によりよい看護が提供できるように心がけて頑張りたいと思いますので宜しくお願ひ致します。

病棟看護師 久貝 久代



今年3月末から医療秘書として勤務しております新垣美羽と申します。医療現場で働くのは初めての事ですので至らない点も多々あると思いますが、裏方として皆様のお役に立ちたいと思っておりますので宜しくお願ひ致します。医療秘書 新垣 美羽



受付事務 長浜 謙太

平成23年の11月から勤務している長浜謙太といいます。スタッフのみさんがとても優しく、わからないことはすぐ教えてくれるので毎日が勉強状態です。教えてもらったことを理解して、質問されてもすぐに答えられるようにならなければなりませんのでよろしくお願ひ致します。



まかび看護師 小松 亜紀子

今年5月からまかびで勤務しています。まだ慣れないこともあります。スタッフの皆さんに助けられながら日々楽しく働いています。今までの経験を生かし、那覇西クリニックで学びながら、スタッフ、患者様に信頼される看護師を目指して頑張っていきますので宜しくお願ひ致します。



今年3月31日から、まかびで勤務しています。初めてでとまどう事も多々あります。先輩方に助けられ頑張っています。患者さんの心に寄り添った看護を心がけていきたいと思います。

まかび看護師 柳田 奈穂子



栄養士 豊永 恵里

今年5月16日より栄養士兼調理をさせて頂いています。豊永恵里と申します。厨房の皆様と協力して、安全で喜ばれる食事の提供をしていきますのでよろしくお願ひ致します。



